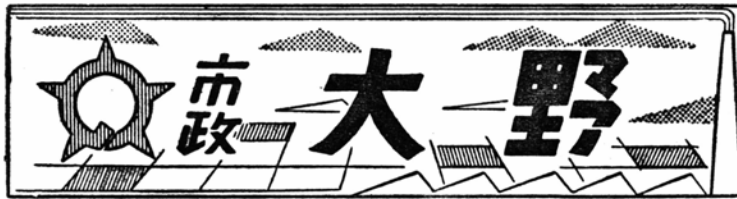


発 行
福井県大野市役所
(総務課広報係)
電話(代)6-3600
夜 間 6-3601
印刷 松浦印刷所



4月の人口の動き

出生	男 38	女 27	計 65
死亡	男 19	女 19	計 38
転入	男 86	女 69	計 155
転出	男 305	女 279	計 584
世帯数	9,895		
人 口	43,805		
男	21,043		
女	22,762		

実戦さながらの放水訓練

市民の防火思想高揚をめざす

市消防署と消防団では、市民の防火思想を高めるため、4月8日午前8時30分から清滝地係の赤根川右岸で総合火災防範訓練を行ないました。

寺島消防長はじめ消防署員、消防団員421名、消防ポンプ14台、小型動力ポンプ39台を総動員。サイレンを合図に赤根川へ出動、現場に駆けつけたポンプ車から一斉に放水、勢いよく水しぶきを散らして本番さながらの放水訓練でした。

このあと、目抜き通りを分列行進し、有終南小学校校庭で観閲式を行ないました。引き続き表彰式にうつり、団体3、個人53名を表彰しました。

授賞者は次のとおり。

◎消防庁長官勤続功績章

山本武(市消防団長)

◎県功労章 高岡重夫(第1分団)・岩本栄作(第7分団)

萩原貞翁死去さる

越前大野城の贈り主



越前大野城の建設資金を寄付された萩原貞翁が4月16日午前5時7分脳軟化症により東京都中野区済生会病院で死去されました。

越前大野城は現在建設工事を着々進められていますが、その完成を翁に見ていただけないことは大野市民としてたいそう残念なことです。翁はさきに土井利忠公の銅像、萩原文庫(大野公民館内)赤根川の堤防の桜の苗木などかずかずの寄贈をされました。

市では遺徳を偲ぶため、再建される大野城内に翁の胸像を安置することにしてあります。(写真は故萩原貞氏)

◎県勤続章 林達也

(第8分団長)・吉田隆

太郎(第4分団)・穴田

与一(第5分団)・竹内

教隆(第3分団)

◎20周年記念感謝状

岡二男治(第8分団)・

辻治郎右エ門(第2分

団)・椿坂実五郎(第6分

団)・米村政栄(第5分

団)・森清(第1分団)・

鈴木清治(第6分団)・

橋本義雄(第1分団)・

井部土松(第1分団)・

加藤八国(第2分団)・

白井泰(第6分団)

◎日本消防協会勤続章

辻治郎右エ門(第2分団)

◎県消防協会功労章 谷口竜雄(第6分

団)・小池学(第2分団)

◎県消防協会表彰章 朝日登(第1分団)・

前田勇(第1分団)・瀬先章一(第6分団)・

宇野慎一(第1分団)

◎永年勤続退職消防団員感謝状

山崎喜一(第5分団)

◎消防協力団体感謝状 大野市防火協力

会、大野市危険物安全協会

◎退職消防団員感謝状

筒井正(元第3分団)・池田伍一(元

第1分団)

◎全国少年消防クラブ運営指導協議会長

表彰 有終南小学校少年消防クラブ

◎団長功労章 池田武男(第1分団)・岡林

正造(第2分団)・石黒幸三郎(第3分団)・

安川経治(第4分団)・水本政栄(第5分

団)・土田一男(第6分団)・金本一三(第

7分団)・岸本永信(第8分団)

◎表彰章 武内治郎(第7分団)・桑森新

一(第1分団)・木本実(第1分団)・木瀬光

雄(第2分団)・広田庄吉(第2分団)・橋本

正英(第3分団)・桐林茂(第3分団)・田中

勝栄(第4分団)・田中孫兵衛(第4分団)

伊藤外史夫(第5分団)・山内藤一(第5分

団)・米村喜栄(第6分団)・松田等(第6分

団)・高地珍藏(第7分団)・久保藤士継(



(表彰をうける南校消防クラブ)

第8分団)・山内善一(第8分団)

◎防火協会感謝状

朝国かる(富島)・米村竜栄(富島)

ビル火災に備えて

職員が消火、避難、救助訓練

火災の多発シーズンを迎え、4月6日市役所では消火、避難救助訓練を行ないました。一階の用



務員室から出火し、三階の職員が逃げおくれ、屋上に孤立したとの想定。

職員は庁舎内の消火栓を使って延焼をくいとめる一方、重要書類の搬出につとめ、有終中学校校庭に避難しました。

消防署員は高層建築物での救助訓練として、市役所の屋上から職員がロープなど救助器具を使って地上に降る訓練も合わせて行ない、重要書類の確認、消火栓の活用、避難の徹底を図りました。

(写真は屋上から救助する消防署員)

あほなこっちゃ

交通事故多発

歌のようなわけにはいかなかった

帰れなかったヨッパライ

ザ・フオーク・クルセダース殿

アホナコッチャ



国体競技場を視察

報道取材に万全を期して

第23回国体福井県実行委員会の報道委員が4月3日相撲競技場、ソフト競技場ヘリコプター基地（大野工業高等学校前

空地を予定）などを視察しました。

国体という大事業を成功させるには県民の総力を結集することはもちろんですが、報道の点においていささかの手落ちがないように取材に万全を期すためです

視察の内容は、競技場における新聞・放送記者とカメラマンの席、インタービュー室、駐車場、ヘリポート、電話器の設置場所などでした。

県実行委員会事務局が3月にまとめた秋季大会の報道取材員（県下）は1,847名で、その内訳は新聞記者の1,128名、テレビ・ラジオ放送記者・アナウンサーの605名、映画関係者の43名です。

また、報道関係者が取材するために持ち込む機動資材は乗用車171台、バス6台中継車・電源車などの特殊車17台、トラック3台、テレビ・ムービカメラ40台、それに飛行機・ヘリコプター19機となっています。

亀山公園を清掃

長生会員ら 200名参加

長生会、ロータリークラブ、婦人会、市職員、市民運動部は4月19日午後1時から亀山公園を清掃しました。

この日は好天に恵まれ、手にカマ、スコップ、ほうきを持った参加者約200名は、公園にのぼり、大雪以来のよごれをきれいにしました。

この清掃は毎年行なわれているものですが、越前大野城が完成しますと、市民はもとより観光客が多数訪れますので今後も市民の協力でいつもきれいにしておきたいものです。

（写真は亀山公園の清掃）



福祉年金を受けている方へ！

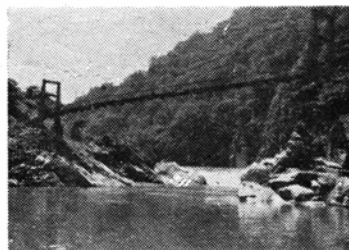
福祉年金（老令、障害、母子）を受けている人は5月期の年金を郵便局で受領されたらその足で市役所または公民館へ所得状況届を提出してください。

この場合、証書と印かんをご持参ください。5月、6月中にこの届出をしないと9月期よりの年金は受けられません。

のしませてくれます。

奥越電源開発工事によって、新しいダムや発電所もでき、道路の整備、越美北線の延長工事も着々と進められて奥越高原県立公園「九頭竜峡」は、新しい形に姿をかえることでしょう。

（写真は九頭竜峡）



家庭の日……5月19日

5月のテーマ

自然のなかで

みんなの夢を育てよう。

テント5張寄贈

大野ライオンズクラブ

大野ライオンズクラブ（会長道関文氏）では4月5日大野市ヘテント5張を贈りました。

これは本年福井で開られるライオンズクラブ全国大会と福井国体の記念事業の一環として行なわれたものです。

その贈呈式が有終中学校校庭でクラブ員、市関係者が出席して行なわれました（写真は目録を受ける寺島大野市長）



水路の美化運動

ゴミは川へ捨てない

長かった冬のため、まちの中の用水路は非常にきたなくなっています。このため市では美化運動を展開することになりましたので、町内こぞって用水路を清掃しましょう。

先日もある水路でゴミがつまり、浸水するさわぎがありました。ごみは絶対に川へ捨てないでビニール袋に入れて出してください。

なお、市、消防署、警察署が一体となって、ゴミを不法に投げ捨てるのを取りしめるため、覆面パトロールを計画しています。

不法投棄が発見された場合、処罰されることになります。

多量のゴミが出た場合は必ずゴミ処理場（新在家）へ運んでください。



くずりゅう 九頭竜 峡

九頭竜川の上流西勝原から、仏原・湯上を経て和泉村にいたる間は、石英粗面岩の侵蝕地形で、九頭竜峡中とくとく奇勝絶景にとんでいます。

千じんの断がいの下に青々とした水をたたえる「巳午の淵」、びょうぶを立てたような「鳥が壁」、市内で白山のみえるただ一か所「一目白山」、奇岩怪石重畳する「魚止め」、岩壁が頭上にせまる「法善壁」「霧ふりの滝」から「七反滝」へと、スリル満点の奇勝は、新緑に紅葉にハイカーの目をた

あ て な に 郵 便 番 号 を

7 月 1 日 から 実 施

きたる7月1日からみなさんの差し出される郵便に郵便番号を書いていただくことになりました。

これは年々増える郵便物をスムーズに処理して早くお届けするためのものです。これから赤い^{わく}を印刷した封筒やはがきが売り出されますが、これは郵便番号を書き入れるための欄です。

○郵便番号とは、全国の郵便局の配達区域ごとにつけられた3けたの番号です。この郵便番号をお知らせするため、5月から6月にかけて皆さんのご家庭に郵便番号簿をお配りします。

○郵便番号は、封筒やはがきに印刷された赤^{わく}の中に、青か黒でハッキリ書いてください。利用者にごめい^{わく}をおかけするかわりに、区分け作業の能率が上がり、中継ぎの手数もはぶけますので郵便が早く届くことになります。

○ご自分の住所のそばにも郵便番号（大野局は⁹¹²）をお書きくださると、相手の人が返事を書くとき郵便番号簿をみなくてすみます。

○新住居表示実施地域あてのものは、新住居表示で（ご自分の住所も）願ひ

します。

◎郵便番号制についておわかりにならぬ点は、もよりの郵便局でおたずねください。

青少年のスポーツ奨励など

正しい「家庭の日」を実施しよう。

大野市青少年問題協議会は青少年を健全に育成する今年重点目標を決めました。これから各関係機関、団体はもちろん、市民すべてが次の目標に向けて努力しましょう。

重 点 事 項

1. 青少年のスポーツ、レクリエーションの奨励

△職場や地域でのスポーツをさかんにし、青少年のスポーツ団体、グループを育成しよう。

2. 明るい家庭づくりとおとなの自覚

△正しい「家庭の日」の実施のため家族みんなで「話しあい」「楽しみあい」「協力する」3つの柱を大切にしよう。

△家庭教育学級、婦人学級、P・T・A等の学習の場には、すすんで出席しよう。又鍵っ子の問題をどうすればよいかを考えよう。

3. 青少年の市民意識の高揚と教育の充実

△親切運動やきまりを守る運動を通して、青少年の道徳感を養おう。

△青少年の生活指導のため、学校、職場における生活指導員を養成しよう。又横の連絡をはかろう。

4. 青少年の安全と非行の防止

△こどもに対する交通安全のしつけの徹底と施設の整備をしよう。

△有害出版物を追放し優良図書を奨励しよう。

青少年映画鑑賞会

と き 5月19日(日) 午前8時30分

ところ 大 野 劇 場

題 名 1. 鉄 道 員
2. 颯風とざくろ

中小企業者に福音

運転資金、設備資金を融資

県では中小企業者に運転資金および設備資金を融通して経営の合理化、体質改善を図っております。

融資を受けたい方は大野商工会議所または市役所商工観光課でおたずねください。

融資の内容は次ぎの表のとおりです。

福 井 県 昭 和 43 年 度 中 小 企 業 制 度 融 資 一 覧 表

資 金 の 内 訳	目 的	対 象	融資限度	融 資 期 間	融 資 利 率	償 還 方 法
商工業組合振興資金	中小企業者の協業化促進 組織の強化育成	中小企業等協同組合、商店街振興組合、信用組合員	業務方法書 の定めるところ による商工中金の融資限度 20,000千円		日歩2銭3厘5毛以内 (年利8.6%以内)	—
特別小口保証制度資金	零細企業の金融緩和	小規模中 小企業者	千円 500	運転 設備 1年以内 2年以内	日歩2銭(年利8.28%) 保証料日歩2厘7毛	—
商業経営安定資金	中小企業者の経営安定および振興	中 小 企 業 者	千円 3,000	運転 設備 1年以内 3年以内 (すえおき6ヵ月含)	日歩2銭2厘 (年利8.03%)	設備6ヵ月すえおき
輸 出 振 興 資 金	輸出関係資金の緩和	中小輸出品製造 同販売業者	千円 3,000	運転 設備 1年以内	日歩1銭8厘 (年利7.66%) 保証料日歩3厘	—
中小企業季節金融資金	季節金融の緩和 (中元・年末資金)	中 小 企 業 者	千円 1,000	運転 設備 4月以内	日歩2銭2厘 (年利8.03%)	—
観光施設整備資金	観光施設の整備拡充	観光関係事業者	千円 10,000	設備 (すえおき1年含)	日歩2銭3厘 (年利8.39%)	1年すえおき、4ヵ年 均等償還
中小企業福祉施設改善資金	労働福祉施設の改善	中 小 企 業 者	千円 団体3,000 個人2,000	設備 (すえおき1年含)	日歩2銭3厘 (年利8.39%)	1年すえおき、4ヵ年 均等償還
食品衛生・環境衛生関係、営業特別融資資金	環境衛生関係 営 業 の 改 善	食品衛生・環境 衛生関係業者	千円 運転500 設備2,000	運転 設備 4月以内 4年以内 (すえおき年度内含)	日歩2銭2厘 (年利8.03%)	設備、年度内 すえおき3ヵ 年月賦償還

子どもを交通事故から守る運動

関係者の協力で成果実る

4月一ぱい展開された県民運動にそって、大野市でも関係者が協力して強力なよびかけを行ないました。

横断歩道標識の完成

有終西小学校前の通りは、三番通りについて交通量の多いところです。道路を横切って通学することもたちを守るために、張り出し横断歩道標識がおめえししました。

この標識は3月に着工し、4月初めに完成しました。標識の設置され場所は有終西小学校前のほか、本町・七間通り三差路、国道157号線と水落通り交差点、荒島保育所前の4カ所です。

愛のパトロール

4月15日から3日間、市役所女子職員が愛のパトロールを行ないました。

10名の女子職員は、大野警察署長の指導を受けたあと、事務服に腕章、ワッペンをつけ、職員2名、警官1名が1組となり、5組にわかれて街頭に出ました。

女子職員は子どもや老人に正しい歩行や横断歩道の渡り方を指導したり、道路

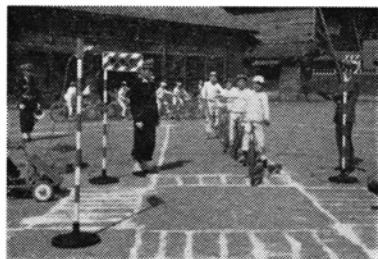
で遊んでいる子どもに愛の声をかけたりして、事故防止と正しい交通マナーの指導にあたりました。

自転車の乗り方講習会

子どもを交通事故から守る専門委員会では、4月20日市内小中学校生徒の代表50名をあつめて、正しい自転車の乗り方を指導しました。

警察官の指導によって、自転車の整備や乗り方を学び、南校校庭に設けられたもぎ道路で、信号のみかたや交差点の渡り方など、自転車に乗って実際に勉強しました。この代表は学校へ帰って友だちに教えてあげることになっています。

(右上写真は自転車の乗り方を勉強する小中学生)



初のスクールバス

尚徳中学校へ配備

尚徳中学校に多年待望の通学用スクールバスがおめえし、4月5日市役所前で行なわれました。

この車は全長9.15m、全幅2.45m、全高3.09mで、色はクリーム・ブルーのツートンカラーのスマートなものです。

定員は73名で、車内は200Wの蛍光灯3つ、サークルインスピーカー2つが同時に埋込まれ、窓わきにはマイクの差込みが2カ所設置されています。

また床は早期腐敗を防止するために、耐水ベニヤの上にロンリユウム張りとなっており、室内の暖房を図るため、ウエバスト式暖房器具が設備されています。

当校下飯谷地区の生徒はこれまで大野交通バスで登下校していましたが、時間的制約や、時には大きな不つごうもありましたが、新学年からはこれらの心配が全くなり、関係者一同喜びに満ちています。(写真はスクールバスの入魂式)



(写真は道路で遊んでいる児童に愛の声を掛ける市職員)

あなたの愛の献血が 尊い生命を救う

生死の境に立つ重病人、重傷者に輸血の必要なことは申すまでもありません。

同僚・友人や身近な人そしてあなた自身のために献血にご協力ください。

日赤の血液センターでは移動採血車が活動しています。町内・部落・職場等で50人以上のグループで献血して下さるときは、市役所の厚生課に連絡していただければこの採血車が向ういてまいります

献血者には血液型や献血記録を記入した献血手帳をお渡しいたします。万一あなた自身や近親の方、その他輸血の必要が生じた場合に、献血手帳を持って申し出てくだされば優先的に血液をお返しいたします。



明治百年を迎える本年は、福井県にとって「国民体育大会」という大事業を行なうことになった。わが大野市にはこれを機会にす

ばらしいプレゼントがある。すでに建設中の「越前大野城」がそれで、日を追ってその偉容を現わしつつある。ただ惜しむべきはこの城の贈り主の萩原貞翁が落成を目前に死去されたことだ。心からめい福を祈りたい。▼それにもうひとつは「大野の歩み」の発刊である。さき頃市教育委員会から、これの発刊案内が各家庭に配られたことです。ご承知のことだろうと思うが、特筆に値するものと考えらる。▼有史から現代までの郷土の歩みは知っているように、案外知られていない面があるものだ。こんど発刊予定の「大野の歩み」は特に小中学校の児童生徒の副読本的な程度で編集される方針である。で、年令や男女の差異なしに気軽に読まれるものと期待して間違いない。ただ一部には歴史の本であるというところ、いさゝかの抵抗があるようだが、そんな堅苦しいものでもないし、専門的な書物でもない。いえばわれわれの心の憩いの場所とでもいうべきか。▼未知の土地を訪れたとき、その地のようすや昔の話を聞くことは実に楽しいものである。国体開催の秋に全国各地から集る選手団に大野の話が出来ることは私たちの幸福でもある。りっぱなお城が出来てもお城にまつわる話さえ知らないのではさびしいことである。開けゆく郷土を長い歴史の中でとらえることは郷土に生まれたい人の責務でもある。▼申し込み期限は五月二十日に延ばしたと聞く。ぜひ一戸に一冊をといえはいさゝか宣伝めいたととられるかも知れないが他意はない。郷土をたたえる心と大切に思うからである